土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.2	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.4668″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 4日 ～ 2021年 8月 11日	**東経**	132° 48′ 59.4400″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 4.93m	**角度**	180°（上）／90°／0°（下）	**方位**	北 0°／東 90°／南 180°／西 270°	**地盤勾配**	水平0°／鉛直90°
総削孔長	14.00m	**使用機種**		**試錐機**	YBM YSO-1WA	**ポンプ**	GP-5
				エンジン	ヤンマーNFD10		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地層名	記事
	1.23	3.70		埋土		暗灰～灰褐	緩い～中ぐらい			深度0.4m付近まで砕石。深度1.2m付近にt=0.2m程度のCo板。Co板下部は砕石～礫・玉石混り土砂。As ガラ混入する。 ボーリング地点は、深度2.00mまで空洞(VP管保孔)。 深度2.00m以深～Φ50mm程度までの礫を混じる礫混り土砂。 深度3.20m～3.45m間にコンクリートを挟む。 深度3.70mに木片を挟む。
	-0.57	5.50		礫混り砂		黄褐灰	非常に緩い～ぐい中ら			Φ10mm～30mm程度の亜角礫、亜円礫を挟み砂分は中～細粒砂を主とする。 深度3.70m～4.70m間は、全体に緩い。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。
	-6.07	11.00		玉石混り砂礫		灰褐～黄褐～暗青灰	密～非常に密な			Φ80mm～150mm程度の玉石が80%程度を占める。 玉石間は粗粒砂が埋める。 最大採取コア長L=200mm程度の玉石も存在する。 深度5.00m～7.40mまで逸水なし。以深、全逸水。
	-9.07	14.00		砂岩・礫岩		黄褐灰～青灰				深度11.50mまで細粒砂を主とした砂岩。棒状コアで採取される。 深度11.65m以深、コア長L=100mm～300mm程度の棒状～片状コアとなる。 深度12.80m～12.95m間、コア脱落により打ち込みにて採取した為、乱れた状態となる。

孔内水位／測定月日：08/07 4.93

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
300	3.15 / 3.20	50 / 50			50 / 50	50	
2	4.15 / 4.45	1 / 200	1		2 / 300		
14	5.15 / 5.45	5	4	5	14 / 300		
88	6.15 / 6.32	12	38 / 70		50 / 170	170	
60	7.15 / 7.40	18	22	10 / 50	50 / 250	250	
35	8.15 / 8.45	10	12	13	35 / 300		
79	9.15 / 9.34	13	37 / 90		50 / 190	190	
	10.10 / 10.19	貫入不能			50 / 0		
167	11.09 / 11.09	50 / 90			50 / 90	90	
188	12.08 / 12.08	50 / 80			50 / 80	80	
	13.00 / 13.00	貫入不能			50 / 0		
211	14.00 / 14.07	50 / 70			50 / 70	70	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					8/5
					8/6
					8/7
					8/10
					8/11